

概要版 前橋市国民健康保険 保健事業実施計画(データヘルス計画)

平成27年度～平成29年度

平成 27 年 7 月

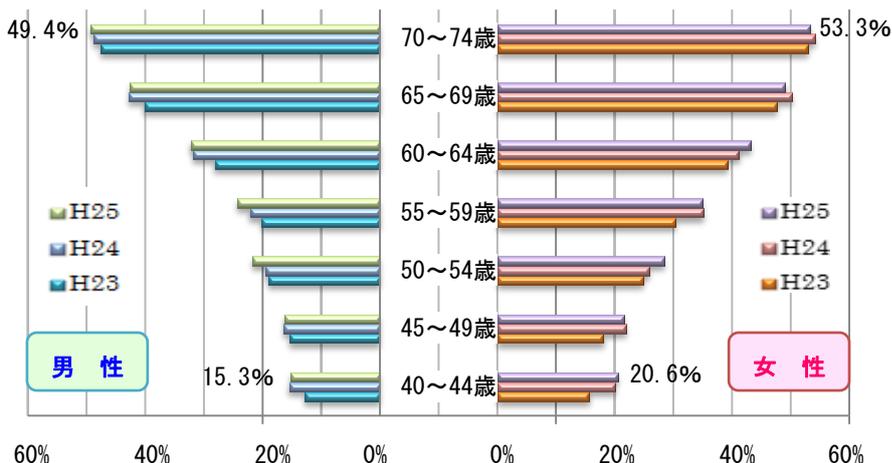
●計画の概要

「日本再興戦略」(平成 25 年 6 月 14 日閣議決定)において、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータの分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市町村国保が同様の取組を行うことを推進する」とされたことを踏まえ、「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」が改正されたことから、前橋市においても PDCA サイクルに沿った効果的で効率的な保健事業の実現に向け、「前橋市国民健康保険 保健事業実施計画(データヘルス計画)」(平成 27 年度～平成 29 年度)を策定しました。

●本市の健康課題

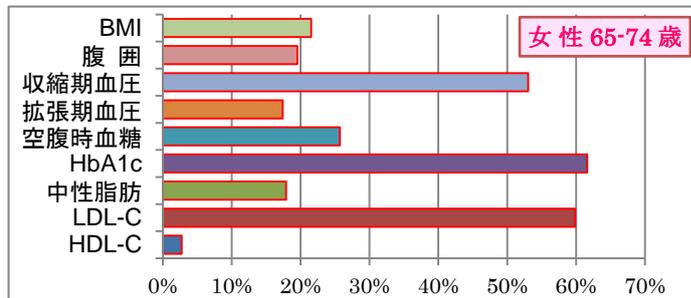
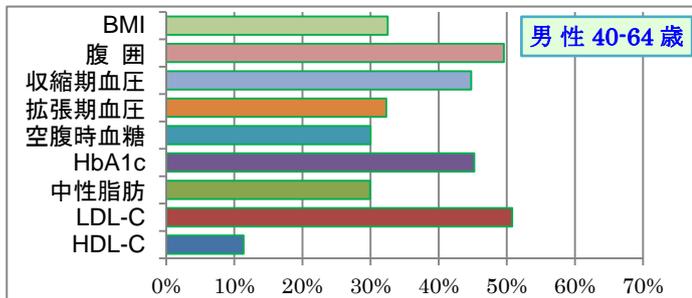
◆特定健診受診率の男女別、年代別推移 (平成 23 年度～平成 25 年度)

平成 25 年度の「男性 70～74 歳」受診率が 49.4%、「男性 40～44 歳」受診率が 15.3%と、若いほど受診率が低い傾向です(女性も同様)。特に 40 歳代男性は 6 人に 1 人しか健診を受診しておらず、若年層への受診勧奨が重要となります。



資料：法定報告関連帳票「特定健診・特定保健指導実施結果報告(TKCA001)」(平成 23～25 年度)より作成

◆特定健診における有所見の割合 (有所見の割合・・・検査値が一定基準の範囲外にある人の割合)



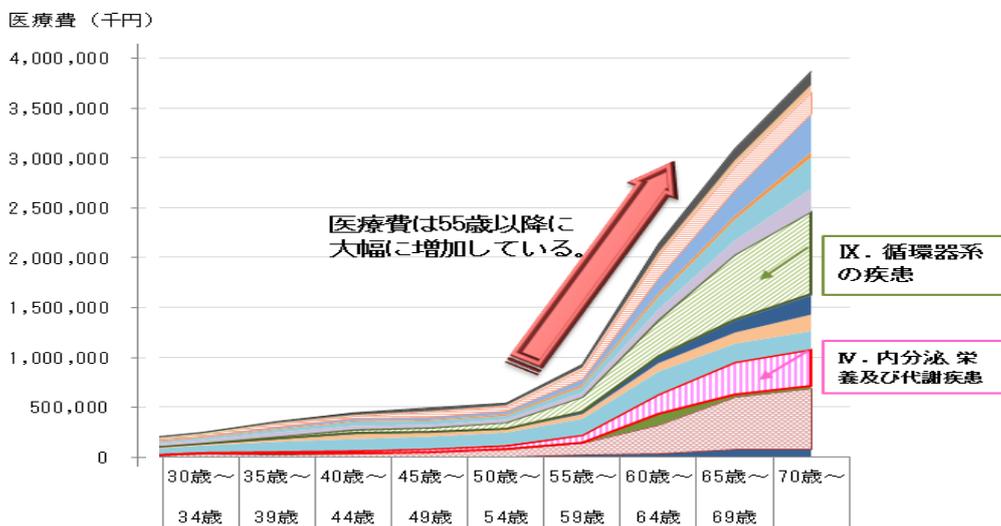
資料：KDB システム(平成 25 年度)

有所見割合の高い年代は、「男性の 40～64 歳」、「女性の 65～74 歳」となっており、有所見割合の高い項目は、男女とも収縮期血圧、HbA1c、LDL-C(悪玉コレステロール)、さらに、男性では腹囲も高い項目となっています。

◆各年代の医療費(大分類疾病)

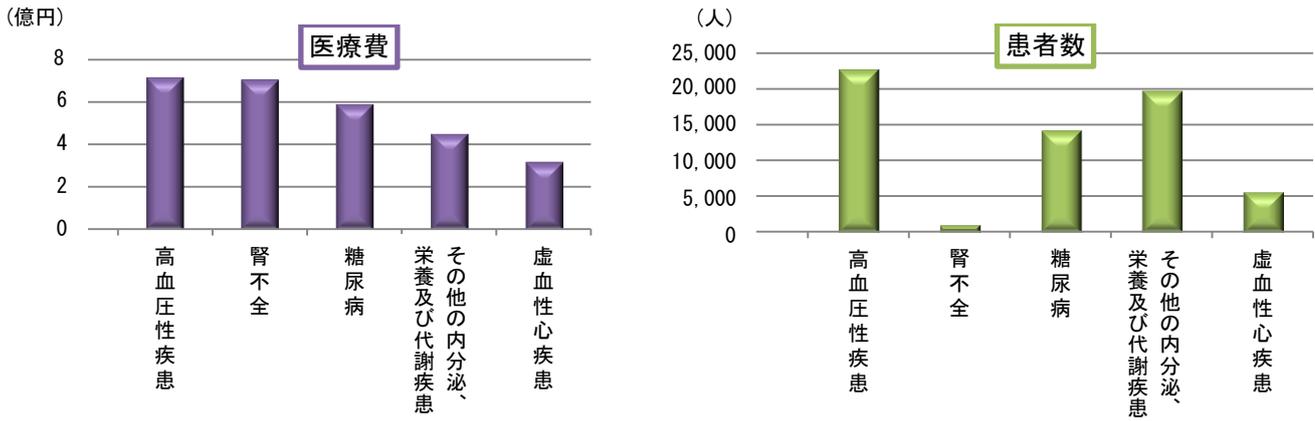
55 歳以降に医療費が増加しており、なかでも「循環器系の疾患」や「内分泌、栄養及び代謝疾患」の増加が顕著に表れています。

若いうちから定期的な健診の受診や糖尿病、高血圧などの原因となる生活習慣病の予防が重要となっています。



資料：前橋市国民健康保険の医療費等分析(平成 26 年 1 月～平成 26 年 6 月診療分データ)

◆主な生活習慣病の医療費、患者数（中分類疾病）



資料：前橋市国民健康保険の医療費等分析(平成26年1月～平成26年6月診療分データ)

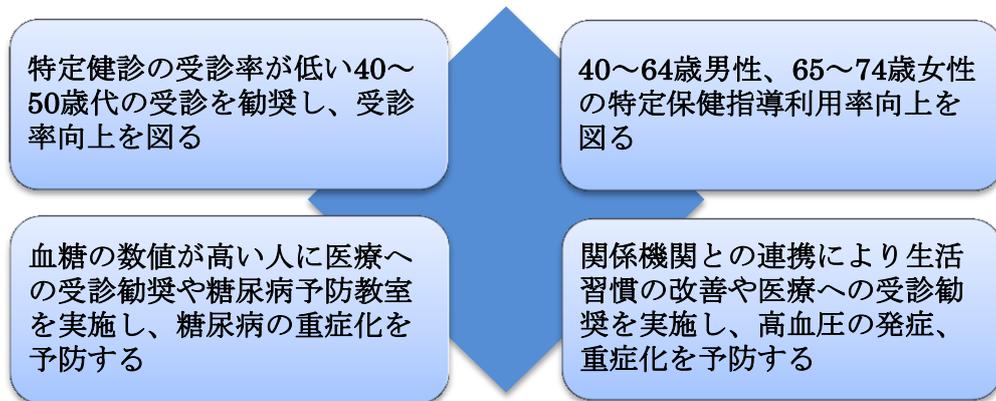
主な生活習慣病で比較してみたところ、医療費が高額なのは「高血圧性疾患」や「腎不全」であり、6ヶ月間で7億円以上となります。患者数では、「高血圧性疾患」が特に多く2万人を超えています。また、「腎不全」は1人あたりの医療費が高額であることがわかります。「高血圧性疾患」や「腎不全」は、高血圧や糖尿病が重症化して発症しますので、これらの疾病の重症化予防対策が重要となります。

●保健事業の目的及び目標

《目的》

生活習慣病の発症及び重症化を予防し、医療費の適正化及び健康寿命の延伸を図る

《目的を達成するための目標》



●保健事業の主な実施内容

事業名	実施内容
特定健診受診勧奨	40～50歳代の特定健診未受診者を医療の受診状況によりグループ分けし、通知による受診勧奨など
特定保健指導利用勧奨	40～64歳男性および65～74歳女性の特定保健指導対象者のうち、未利用者へ電話による利用勧奨など
糖尿病対策	血糖の数値が高い人を対象に、糖尿病予防教室の開催や医療の受診状況でグループ分けした通知による受診勧奨。市民を対象に、地区組織による啓発活動、健康教室の開催など
高血圧対策	関係部署、医師会、協会けんぽ、地区組織と連携した高血圧対策の検討など